

◇今年度の主な取組の中間報告について

1 プログラミング教育の推進

プログラミング教育を推進し、児童生徒がICT社会への対応力や、プログラミングを学ぶことで得られる論理的思考力や問題解決能力等を伸ばすことの重要性を理解してもらうきっかけになる取組を行っていきたいと考えている。

また、教員には、プログラミング教育に一步先に触れることで、早期理解や負担軽減につながればと考え、取組みを進めている。

《別紙 資料1-1 のとおり》

2 課題解決に向けた学校取組支援事業

児童生徒の学力や体力向上・キャリア教育・教員のスキルアップなど、自校の課題解決に向けた取組や教育環境の充実のための取組を支援する。（上限：各校 20万円）

申請内容等

- ・1回目（6/14ㄨ）

5校：教員向け研究会や児童保護者向け学習会の講師報償金、備品購入（本棚や運動器具）等

- ・2回目（8/14ㄨ）

13校：備品・物品購入（運動具・辞典や英語教材の図書・電子看板等）、漢字検定受験料 等

3 民間事業者を活用した基礎学力支援事業（西淀川個別復習塾）

塾等の事業者が公共施設等を活用して課外学習支援を実施できるようにすることで、区内の教育環境の充実を図り、生徒の学習習慣の定着、基礎学力の向上を目指す。

平成29年10月から実施

対象：区内全中学生

実施場所・日時：①区民ホール 月曜日 18:00～21:00（指導時間）

②区民会館 木曜日 18:00～21:00（指導時間）

学習教科：国語・数学・英語 ※プリント・映像学習（PC・タブレット）による指導

受講料：月額1万円 ※塾代助成カードの利用可能

4 英語交流事業について

英語のネイティブスピーカーと交流し、楽しみながら英語でのコミュニケーション意欲を高めることを目的に、今年度初めて実施した。

《別紙 資料1-2 のとおり》